



金融教育 フェスティバル 開催レポート

本年度7ヵ所で行われる
「金融教育フェスティバル」。
当日の様様をご報告します。



暮らしに役立つ講演会
身近に起こる金融トラブルの事例をユーモラスに話していただき、会場からは笑いも起こっていました。

金融広報中央委員会では、親子で金融の基礎をたのしく学べる体験型イベント「金融教育フェスティバル」を、全国7ヵ所で開催。

「金融教育フェスティバル」は、平成17年度から20年度までは東京で開催し、好評であった21年度に続き、22年度も各地の金融広報委員会と共催して全国で開催することとしました。

今年度は、高知県（7月25日）を皮切りに、三重県（8月21日）、鳥取県（10月9日）、東京都（11月6日）、北海道（11月20日）の5ヵ所が終了しました。この広報誌をご覧いただいているころには、岡山

県（12月23日）、千葉県（平成23年1月8日）も終了しているかも知れません。

いずれの会場でも、多数の方々にご来場いただき、その活気から、金融知識や金融教育について、知りたい情報・役に立つ情報の入手や、楽しみながらも考えきりかけ作りのお手伝いができたと感じました。

多彩なテーマとなった講演会

「暮らしに役立つ講演会」と題しまして、各方面でご活躍の講師に、私たちに身近なテーマで、そして賢い消費者になるためのアドバイスなども交えながらお

話していただきました。

体験談を通して親から子どもに伝えたい日常生活に必要なおかねの話。現代における多種・多様な情報の理解・習得や、金融トラブル・それを回避するために必要な知識・心構えの話。さらに長寿社会における老後を安心して安全に暮らすために必要なことなど、各地のニーズに応じて多彩なテーマの講演会が展開されました。

参加者からは、「言われて初めて気付くことが多く勉強になりました」とか、「深刻になりがちなテーマなのにとっても楽しく、そしてとても分かり易くお話し



おかねの仕事体験

子どもたちは、中央銀行の業務を体験。
みんな、一生懸命コインの選別をがんばりました。

(注)模擬貨幣

「いただき有意義な時間でした」との声が多く聞かれました。

子どもたちは、楽しく学びました！

子ども向けプログラム「おかねの仕事体験」では、日本銀行の実際の仕事であるコイン(注)の選別を模擬体験し、破れたおかねも基準により交換できることを学びました。そして受け取ったお給料(注)で「カレー作りゲーム」を体験しました。限られた予算(お給料)の中から、買いたいけれど買えないものがある、だから大切なおかねはよく考えて使う、ということを学びました。

「豆しばとおかねのことを学ぼう」では、豆しばがおかねに関する豆知識を披露。また、おかねの歴史や偽造防止技術



豆しばとおかねのことを学ぼう

人気のキャラクター豆しばが、「ねえ、知ってる?」と豆知識を教えてくださいました。

© DENTSU INC.

などについて3択クイズで学んだり、おこづかい帳のつけ方も教えてもらいました。このほかに、おかねクイズへのチャレンジや本物そっくりの金塊などのレプリカの重さ体験、オリジナル貯金箱作りに熱中していました。

実践的な金融教育の手法を習得

学校の先生や教員を目指す大学生等を対象に、「教員向けセミナー」を行いました。金融教育に造詣の深い先生からの講話やワークショップ、金融教育を実践された学校の先生からの報告などにより、「今後の授業で活用したい」といった感想が聞かれるなど、実り多いセミナーとなりました。



教員向けセミナー

参加された方は、教育の現場で役立てようと、熱心に耳を傾けていました。

暮らしに身近な情報の入手

金融広報中央委員会の協力団体の講師による「金融教育セミナー」(東京都・北海道・岡山県・千葉県で開催)では、資産運用時の留意事項等を含めた生活設計や金融トラブル防止のために必要な知識などの話を、熱心に聞いていました。

また、当委員会および協力団体の金融知識や金融教育に関する刊行物等を紹介・提供する「資料提供コーナー」では、多くの資料を持ち帰る方がみられました。
.....
最後にりましたが、本イベントの開催をご支援いただきました協力団体の皆さま、ご来場いただきました多くの皆さまに、心より厚く御礼申し上げます。